



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 日本空調サービス株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 4658 URL <https://www.nikku.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 洋二  
 問合せ先責任者（役職名） 経理部長（氏名） 横井 智明（TEL） 052-773-2511  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,759	10.2	557	58.1	594	53.6	325	64.6
2019年3月期第1四半期	9,763	4.5	352	24.7	387	23.4	197	62.4

（注） 包括利益 2020年3月期第1四半期 439百万円（26.7%） 2019年3月期第1四半期 347百万円（28.2%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.26	9.09
2019年3月期第1四半期	5.63	5.53

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	33,244	17,346	51.2
2019年3月期	33,944	17,407	50.3

（参考） 自己資本 2020年3月期第1四半期 17,007百万円 2019年3月期 17,084百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	11.50	—	14.50	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	12.50	—	12.50	25.00

（注） 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	3.5	2,650	1.9	2,750	0.9	1,750	△2.4	49.87

（注） 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期（累計）の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	35,784,000株	2019年3月期	35,784,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	691,417株	2019年3月期	691,417株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	35,092,583株	2019年3月期1Q	35,074,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調を維持しておりますが、一方で、中国経済の減速や米中貿易摩擦などの影響が懸念され、先行きは不透明な状況となっております。ビルメンテナンス業界においては、引き続き施設の維持管理コストの見直し意識が強いものの、省エネや省コストに加え、病院での手術室の無菌化や院内感染の防止、製薬工場や再生医療研究所等でのバリデーションサポートといった高度な技術力に対し、関心が高い状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、当社のノウハウを活かした、設備及び環境診断・評価、ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)を通じてお客様の潜在的ニーズの掘り起こしに努め、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,759百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は557百万円(同58.1%増)、経常利益は594百万円(同53.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は325百万円(同64.6%増)となりました。

なお、当社グループは、建物設備のライフサイクルに合わせて、メンテナンスサービスとリニューアル工事を一体化した事業活動を展開しており、当該事業以外の事業について重要性が乏しいことから、報告セグメントを単一としております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、33,244百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、19,503百万円となりました。これは主に、現金及び預金が721百万円、たな卸資産が547百万円それぞれ増加し、受取手形・完成工事未収入金等が2,158百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、13,741百万円となりました。

## (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.9%減少し、15,898百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、11,850百万円となりました。これは主に、未払費用が485百万円増加し、支払手形・工事未払金等が898百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、4,048百万円となりました。これは主に、長期借入金が138百万円減少したことなどによります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、17,346百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の50.3%から51.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの中核事業である建物設備メンテナンス及びその補完的役割を担う建物設備工事におきましては、世界各国の政治、経済の先行き不安を受け、設備投資への不確実性が増しているものの、環境保全に関心が高まっている昨今、省エネや省コスト等につきまして、引き続き高い関心がもたれております。

このような経営環境の中、よりお客様との接点を重要視し、「設備及び環境診断・評価」「ソリューション提案(省エネ・省コスト提案、環境改善提案)」に注力して、メンテナンス及びリニューアル工事の拡大を図ってまいります。また、2019年4月より「医薬・再生医療エンジニアリング部」を新設し、製薬工場及び研究施設等を中心とした施設環境の維持管理に高度な技術力が必要とされるお客様への提案をより一層積極的に行ってまいります。海外展開におきましても、技術力及び提案力の強化に注力し、積極的な新規顧客開拓による既存海外グループ会社の収益化を目指してまいります。

2020年3月期の通期業績見通しは次のとおりとなり、2019年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

	連結		
売上高	48,000 百万円	前期比	3.5 %増
営業利益	2,650 百万円	前期比	1.9 %増
経常利益	2,750 百万円	前期比	0.9 %増
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,750 百万円	前期比	2.4 %減

なお、上記の見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,197	7,918
受取手形・完成工事未収入金等	11,405	9,247
電子記録債権	669	958
たな卸資産	506	1,053
その他	447	327
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,225	19,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,942	2,920
土地	3,958	3,958
建設仮勘定	30	60
その他(純額)	1,660	1,632
有形固定資産合計	8,592	8,571
無形固定資産		
のれん	151	147
ソフトウェア	313	287
その他	21	21
無形固定資産合計	485	456
投資その他の資産		
投資有価証券	3,771	3,886
その他	875	833
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,641	4,713
固定資産合計	13,719	13,741
資産合計	33,944	33,244

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,013	4,114
電子記録債務	2,949	2,937
短期借入金	52	120
1年内返済予定の長期借入金	557	555
未払金	264	211
未払費用	2,024	2,509
未払法人税等	536	256
役員賞与引当金	39	-
受注損失引当金	36	40
その他	881	1,104
流動負債合計	12,355	11,850
固定負債		
長期借入金	1,169	1,030
役員退職慰労引当金	241	234
執行役員退職慰労引当金	25	11
退職給付に係る負債	2,680	2,708
資産除去債務	47	47
その他	18	16
固定負債合計	4,181	4,048
負債合計	16,537	15,898
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,139	1,139
資本剰余金	1,129	1,129
利益剰余金	13,221	13,036
自己株式	△86	△86
株主資本合計	15,404	15,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,915	1,994
為替換算調整勘定	△23	△1
退職給付に係る調整累計額	△212	△205
その他の包括利益累計額合計	1,679	1,788
新株予約権	226	236
非支配株主持分	97	102
純資産合計	17,407	17,346
負債純資産合計	33,944	33,244

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,763	10,759
売上原価	7,934	8,742
売上総利益	1,829	2,016
販売費及び一般管理費	1,476	1,458
営業利益	352	557
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	25	32
その他	11	7
営業外収益合計	38	42
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	0	2
営業外費用合計	4	5
経常利益	387	594
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	-	4
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	387	590
法人税等	179	262
四半期純利益	208	327
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	197	325

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	208	327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	79
為替換算調整勘定	△39	25
退職給付に係る調整額	8	6
その他の包括利益合計	139	111
四半期包括利益	347	439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339	433
非支配株主に係る四半期包括利益	7	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、当社の完全子会社であった株式会社日本空調岐阜は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。